



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日  
東

上場会社名 株式会社オーバル 上場取引所  
 コード番号 7727 URL https://www.oval.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷本 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 奥野 保 (TEL) (03)3360-5061  
 管理部門部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,030	△17.4	△182	—	△165	—	△129	—
2020年3月期第1四半期	2,458	11.2	△24	—	△17	—	△24	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △134百万円( —%) 2020年3月期第1四半期 △34百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△5.80	—
2020年3月期第1四半期	△1.11	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	20,504	12,944	61.5
2020年3月期	20,909	13,150	61.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,612百万円 2020年3月期 12,791百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	3.00	7.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 1円00銭

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	△3.3	60	△87.6	120	△78.6	65	△77.0	2.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	26,180,000株	2020年3月期	26,180,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,775,991株	2020年3月期	3,775,991株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	22,404,009株	2020年3月期1Q	22,404,065株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、第1四半期の業績を鑑み、現在、第2四半期以降の施策等について検討中であり、業績予想につきましては修正すべきと判断した場合は、速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済およびわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、過去に例のない状況のもとで、経済活動が大きく制限され、先行きは不透明となり大変厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当企業グループは、中期経営計画「ADVANCE 2.0 - 2021」の最終年度として「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、業績の向上による継続的成長を目指し、一方で「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針とし、現在の厳しい経済環境に左右されにくい強固な経営基盤を構築するため、効率的な組織の改編および最適化にも取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間では、拡大戦略として無線ソリューションの提供などモノづくり環境のスマート化に貢献するソリューションを創出することや、異なる強みを持つ相乗効果により新たな市場への展開を図るため、セイコーインスツル株式会社と販売店契約を締結しました。また、従来モデルより視認性や操作性を向上し自己診断機能も搭載した高精度・汎用形容積流量計「ULTRA OVAL Type S」の販売を開始し、新規顧客の獲得や既存顧客への提案型の深耕営業に取り組んでまいりました。また、財務安定性を確保するため、投資の抑制やコスト削減、運転資金の確保に取り組んでおります。

しかしながら、受注高は、6月はやや持ち直したものの新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販売活動の制限などにより、2,510百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。また、売上高は、シンガポール・中国・韓国の子会社の売上が新型コロナウイルス感染症拡大の影響による石油関連プロジェクトの延期や中止、またロックダウンなどによる出荷の停止などで低迷し2,030百万円（同17.4%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少により、営業損失は182百万円（前年同四半期は営業損失24百万円）、経常損失は165百万円（前年同四半期は経常損失17百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は129百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失は24百万円）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

#### (センサ部門)

受注高は、国内向けは電力関連業界向けに天然ガス計測の大口案件を受注しましたが、海外向けが低迷した影響で1,621百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

売上高は、海外向けを中心に石油関連業界や化学業界など主力市場向けが落ち込んだことにより1,275百万円（同27.5%減）となりました。

#### (システム部門)

海外大口システム案件は、石油関連プロジェクトの延期や中止、原油価格の下落などにより大きく低迷していますが、国内向けが堅調に推移し小口案件の集積で受注高は395百万円（同51.5%増）、売上高は235百万円（同21.5%増）となりました。

#### (サービス部門)

主要顧客の石油関連業界は、原油価格の下落、業界再編などにより市場環境は厳しい状況が継続しておりますが、保全計画サポートサービスなど地道できめの細かいメンテナンス活動に注力した結果、受注高は493百万円（同6.5%減）、売上高は520百万円（同3.0%増）と前年同四半期並みを維持しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ405百万円減少し、20,504百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ525百万円減少し、9,567百万円となりました。これは主に、たな卸資産が159百万円、現金及び預金が196百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が875百万円減少したことによるものであります。固定資産は120百万円増加し、10,937百万円となりました。これは主に投資有価証券が88百万円ならびに建設仮勘定が59百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ199百万円減少し、7,559百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ140百万円減少し、3,457百万円となりました。これは主に、未払費用が395百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が221百万円、賞与引当金が227百万円および短期借入金が86百万円減少したことによるものであります。固定負債は58百万円減少し、4,101百万円となりました。これは主に修繕引当金が23百万円増加しましたが、長期借入金が85百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ205百万円減少し、12,944百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が63百万円増加しましたが、利益剰余金が197百万円、為替換算調整勘定52百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

ただし、今後の業績の推移に応じて見直す必要が生じた場合には、速やかに公表する予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,518,666	2,715,242
受取手形及び売掛金	3,801,382	2,925,939
電子記録債権	739,300	721,570
有価証券	28,762	—
商品及び製品	785,678	824,014
仕掛品	416,145	578,727
原材料及び貯蔵品	1,457,667	1,416,211
その他	349,830	391,153
貸倒引当金	△4,240	△5,505
流動資産合計	10,093,193	9,567,354
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,753,648	5,753,510
その他(純額)	2,585,895	2,637,587
有形固定資産合計	8,339,544	8,391,098
無形固定資産		
のれん	541,223	526,189
その他	374,473	363,104
無形固定資産	915,697	889,294
投資その他の資産		
その他	1,574,675	1,670,307
貸倒引当金	△13,650	△13,650
投資その他の資産合計	1,561,025	1,656,657
固定資産合計	10,816,267	10,937,050
資産合計	20,909,461	20,504,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	781,856	560,713
短期借入金	1,285,086	1,198,691
未払法人税等	35,495	35,393
賞与引当金	484,659	257,562
その他	1,011,449	1,405,347
流動負債合計	3,598,547	3,457,708
固定負債		
長期借入金	901,331	815,749
再評価に係る繰延税金負債	1,513,700	1,513,700
役員退職慰労引当金	13,025	12,822
環境対策引当金	5,465	5,465
製品回収関連損失引当金	2,882	2,882
修繕引当金	—	23,750
退職給付に係る負債	1,471,956	1,482,228
資産除去債務	23,388	23,798
その他	228,478	221,500
固定負債合計	4,160,229	4,101,897
負債合計	7,758,776	7,559,605
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,200,000	2,200,000
資本剰余金	2,122,305	2,122,305
利益剰余金	5,418,663	5,221,569
自己株式	△402,987	△402,987
株主資本合計	9,337,982	9,140,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,989	94,969
土地再評価差額金	3,386,928	3,386,928
為替換算調整勘定	189,615	136,643
退職給付に係る調整累計額	△154,001	△147,347
その他の包括利益累計額合計	3,453,532	3,471,193
非支配株主持分	359,169	332,718
純資産合計	13,150,684	12,944,799
負債純資産合計	20,909,461	20,504,405

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,458,085	2,030,858
売上原価	1,523,506	1,298,714
売上総利益	934,579	732,143
販売費及び一般管理費	959,011	914,842
営業損失(△)	△24,432	△182,699
営業外収益		
受取利息	2,431	2,648
受取配当金	9,566	9,563
持分法による投資利益	3,946	—
受取賃貸料	19,327	19,354
為替差益	—	9,054
その他	5,296	6,793
営業外収益合計	40,569	47,415
営業外費用		
支払利息	10,212	6,704
賃貸収入原価	11,985	22,824
為替差損	11,808	—
持分法による投資損失	—	105
その他	52	713
営業外費用合計	34,059	30,348
経常損失(△)	△17,922	△165,632
特別損失		
有形固定資産除却損	0	232
特別損失合計	0	232
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,922	△165,864
法人税、住民税及び事業税	44,013	10,791
法人税等調整額	△27,574	△38,470
法人税等合計	16,438	△27,679
四半期純損失(△)	△34,360	△138,185
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,433	△8,302
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,927	△129,882



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△34,360	△138,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,564	63,979
為替換算調整勘定	26,668	△67,386
退職給付に係る調整額	6,673	6,653
持分法適用会社に対する持分相当額	△117	396
その他の包括利益合計	△339	3,643
四半期包括利益	△34,700	△134,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,001	△112,221
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,699	△22,319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(修繕引当金の計上)

当第1四半期連結会計期間より、将来の本社ビルの大規模修繕に要する費用の支出に備えるため、その見込額に基づき、当第1四半期連結累計期間に負担すべき金額を修繕引当金として計上しております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に係る会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(資金の借入)

当社は2020年7月1日に以下のとおり資金の借入を実行しております。

(1) 資金の用途

新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化に対する備えとして運転資金を手厚くするものであります。

(2) 借入先の名称

株式会社三菱UFJ銀行

(3) 借入金額

1,500,000千円

(4) 借入金利

市場金利等を勘案して決定しております。

(5) 借入実行日

2020年7月1日

(6) 返済期限

2021年8月2日

(7) 担保提供資産または保証の内容

無担保、無保証